

## 防災士の皆様の地域防災活動等に関するアンケート 結果

実施期間：令和7年8月18日（月）～令和7年8月29日（金）

対象者：日本防災士機構から提供された防災士認証登録者名簿に掲載された港区在住防災士 76名

提供リスト人数 76名      回答者人数 20名      宛所不明 20名      未回答 36名

### Ⅰ. 防災士資格取得後の活動履歴

☐ 防災講演や防災学習会で講師やアドバイザーを務めた。 回答8名

#### 【活動内容】

- ・防災リーダーその他の区民を対象に防災講演をおこなった。
- ・警察・消防・自衛隊と共にシンポジウムを開催。
- ・震災
- ・小学校での防災授業において、アドバイザーを実施
- ・小学校において、毎年1月に阪神淡路の震災を風化させないための防災授業（土曜授業）
- ・防災講演：「阪神淡路大震災から学んだこと」、「心と心をつなぐ防災」
- ・防災出前講座講師
- ・警察署

【実施地域】港区内地域、他区、全国各地

☐ 防災訓練の企画や運営に携わった。 回答6名

#### 【訓練内容】

- ・震災
- ・地域内での防災訓練の企画運営
- ・自主防災組織のスタッフによる避難所開設訓練やシミュレーションによる情報伝達訓練
- ・自宅マンションの防災訓練の企画・運営
- ・地域防災リーダー会議出席
- ・他区防災イベント・他区親子防災教室

【実施地域】港区内地域、他区

☐ 災害支援を行った。 回答8名

#### 【支援活動を行った災害（支援内容）】

- ・令和6年能登半島地震 3名（避難所運営支援）
- ・2011年東日本大震災 岩手県大槌町（家屋の土砂かき）
- ・阪神淡路（神戸市）、北大阪（豊中市）、台風19、20号（大阪市）など（避難誘導、緊急交通路確保、捜索など）

- ・阪神淡路大震災の経験談を語る（避難所の運営等を担った経験と防災士を習得してからの視点の違い等を含め、お話する機会をいただいた）
- ・１９９５年阪神淡路大震災（倒壊した家からの物品搬送）
- ・熊本地震

☐ その他の活動を行った。 回答８名

【活動内容】

- ・PTA 防災イベントの実施
- ・マンション防災の講演会の企画・参加、他区でタワーマンションの理事長・防災担当理事と意見交換会を開催しその内容を広報紙に掲載
- ・社協主催のボランティアセンターの立ち上げ訓練等
- ・２０１８年台風２１号 防潮鉄扉の開閉操作に水防団員として参加した
- ・防災イベント・AED 体験会の開催実績あり（子ども向け含む）
- ・地域まちづくり防災防犯部会所属
- ・能登半島地震支援の後、地域の方たちに写真や活動内容を話した。
- ・防災に係る専門家等のハザード、インフラ整備等のシンポジウムへの参加（防災国体・大学の市民向け講座など）、気象予報士の取得

## ２．港区内の自主防災組織との関わりについて

☐ すでに自主防災組織で活動している。 回答６名

【活動内容（自主防災組織名）】

- ・水防団、地域にて防災活動（淀川左岸水防事務組合、港区防災リーダー）
- ・防災部会打合せへの参加。訓練の企画（地域）
- ・防災減災への取り組み 災害時要援護者の支援等（地域活動協議会 自主防災組織）
- ・防災リーダーの若年化と同時に多数の女性を含めた防災組織化（地域）
- ・自宅マンションの防災委員会の発足・運営（マンション防災委員会）
- ・地域防災防犯部会所属

☐ 現在、自主防災組織で活動していないが、今後活動したいと考えている。 回答６名

【活動したい内容】

- ・防災訓練への参加
- ・地域とのつながりを強める活動
- ・役に立てるならどこでも
- ・ボランティア活動、イベント参加
- ・できることがあれば
- ・会社員としての日常業務や有事対応があるが自らの地域防災実践経験、研さん、防災行政関係者との交流自らの専門的知識、知見を生かせる企画、検討、啓発活動

3. 防災士資格の取得者であることを、港区内の自主防災組織等に情報提供することの可否について

☐ 可能 14名 ☐ 不可 6名

●情報可能項目

氏名13名、ふりがな11名、生まれた年7名、郵便番号6名、住所（すべて）8名

住所（丁目まで）2名、電話番号6名、メールアドレス6名

【防災に関する得意分野・経歴】 回答6名

- ・マンション防災
- ・防災マニュアルの編集、災害時要援護者ヒアリングシート作成、個別支援計画の作成等
- ・防災に関しての経歴はありません。言語聴覚士として災害時に何かできることはないかと JIMTEF の災害医療研修はアドバンスコースまで受講しています。
- ・阪神淡路大震災から学んだ防災意識、「想像力」の講演、子ども向け防災クイズ、AED 体験会
- ・子どもと接するのが得意
- ・自然災害のハザード・インフラ整備に関する知識、知見（地震工学、地球科学、耐震工学、気象学、地震学、河川工学、海岸工学、地盤工学など）

4. 今後取り組みたいと考えている活動について

☐ 今後取り組みたいと考えている活動がある。 回答7名

【取り組みたい内容】

- ・マンションに関する防災訓練、意見交換会等
- ・地区・地域の防災計画の詳細化と地域への広報
- ・小学校の校舎建替えに伴い中学校の活用に向けて対応マニュアルの作成や備品の整備等
- ・マンションの防災・地域の中学校を避難所としての充実化、つながり名簿のマッピング化の完成
- ・現状防災士として活動する余裕はありませんが、できる範囲で協力はしたいと考えています。
- ・子ども参加型の防災企画を地域でしたい
- ・防災行政へのお手伝い（企画、計画）と一般市民への橋渡し、自らの専門知識、知見を生かした行政関係者や防災士同士の交流

【取り組みたい地域】 回答3名

- ・区内の地域 2名
- ・大阪市内

5. 情報提供について

●区役所から、区や地域が実施する防災訓練等の防災に関する案内をすることについて 【回答20名】

☐ 希望する 15名 ☐ 希望しない 5名